

# 令和7年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：福岡県内の世界遺産について

福岡県 人づくり・県民生活部 文化振興課

九州国立博物館・世界遺産室

# 1 調査の目的

世界遺産とは、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(世界遺産条約)」に基づき、顕著な普遍的価値を有するものとして、世界遺産リストに記載された遺産である。「文化遺産」、「自然遺産」、両方を兼ね備えた「複合遺産」の3種類からなり、国や民族をこえて人類が共有するべき遺産とされている。

福岡県内には、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(平成27年7月登録)と『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」(平成29年7月登録)の2つの世界文化遺産がある。

本アンケートは、福岡県内に所在する世界遺産の認知度を把握するとともに、世界遺産としての価値発信の在り方等について今後の事業の参考とする。

# 2 調査期間

令和7年9月9日(火)～10月5日(日)(第3回)

# 3 回答者の構成

項目		計		北九州	福岡	筑豊	筑後
		人数(人)	構成比				
総数	人数	366		92	191	27	56
	構成比		100.0%	25.1%	52.2%	7.4%	15.3%
性別	女性	191	52.2%	49	101	12	29
	男性	172	47.0%	41	90	15	26
	その他	3	0.8%	2	0	0	1
年代別	20代以下	55	15.0%	13	30	3	9
	30代	60	16.4%	15	31	5	9
	40代	75	20.5%	18	39	6	12
	50代	63	17.2%	17	33	4	9
	60代	76	20.8%	21	34	8	13
	70代以上	37	10.1%	8	24	1	4

モニター数 399人

回答数 366人

回収率 91.73%

実施期間 R7.9.9～R7.10.5

### 【回答結果の注意点】

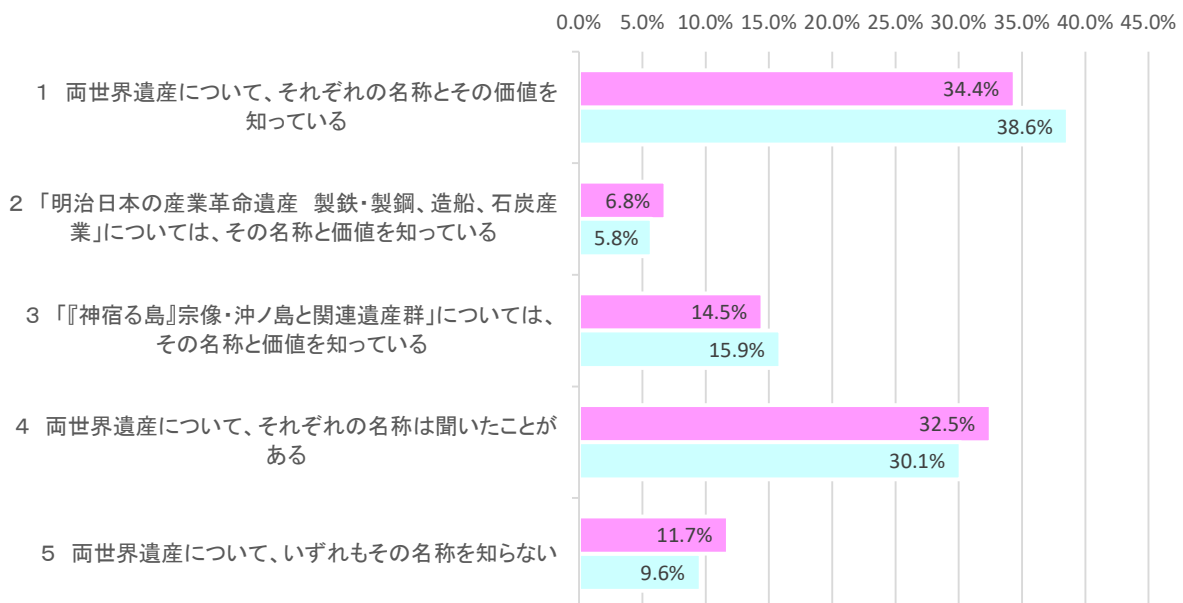
集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。

2以上の回答(複数回答)を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

## 4 回答結果

問1 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」についてそれぞれの名称とその価値について知っていますか。  
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	R7年度 (回答者数366人)		R6年度 (回答者数365人)	
	人数	割合	人数	割合
1 両世界遺産について、それぞれの名称とその価値を知っている	126 人	34.4%	141 人	38.6%
2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」については、その名称と価値を知っている	25 人	6.8%	21 人	5.8%
3 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」については、その名称と価値を知っている	53 人	14.5%	58 人	15.9%
4 両世界遺産について、それぞれの名称は聞いたことがある	119 人	32.5%	110 人	30.1%
5 両世界遺産について、いずれもその名称を知らない	43 人	11.7%	35 人	9.6%

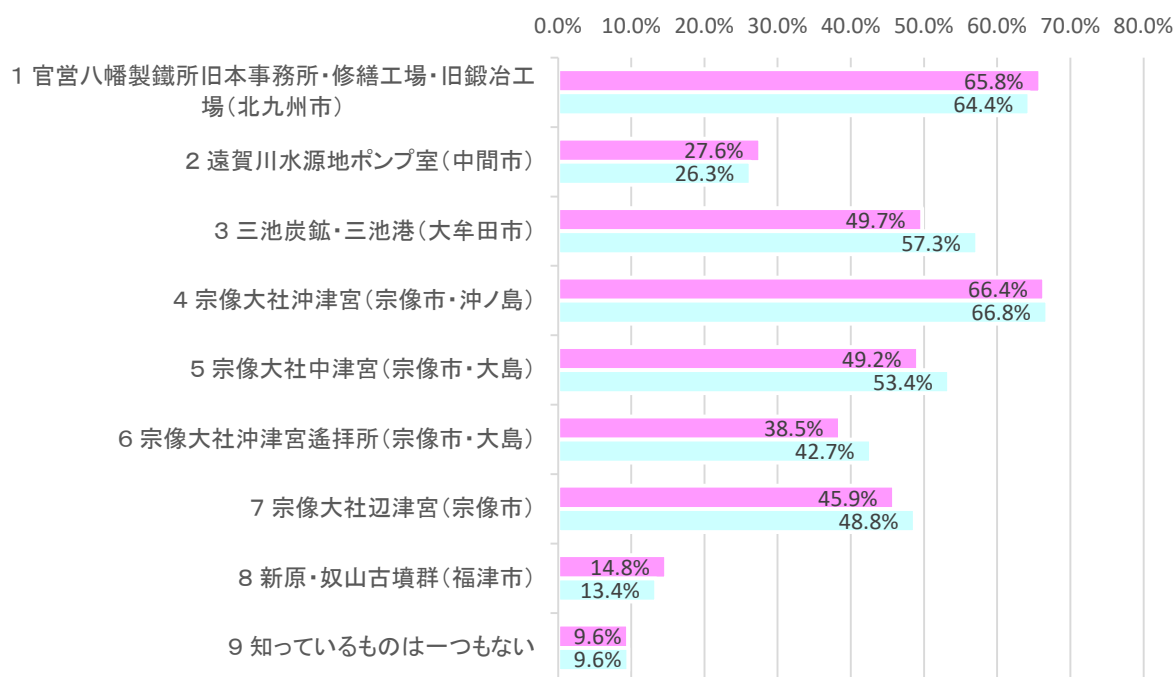


### 【問1の調査結果より】

・本県にある世界遺産について、少なくとも名称を知っている割合は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(1、2及び4の合計)で73.7%(前年比▲0.8ポイント)、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」(1、3及び4の合計)では81.4%(前年比▲3.2ポイント)と認知度が低下している。  
・また、「両世界遺産について、いずれもその名称を知らない」と回答した方の割合は11.7%(前年比+2.1ポイント)と増加している。

問2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について知っている構成資産はありますか。  
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

	R7年度 (回答者数366人)		R6年度 (回答者数365人)	
	人数	割合	人数	割合
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	241 人	65.8%	235 人	64.4%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	101 人	27.6%	96 人	26.3%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	182 人	49.7%	209 人	57.3%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	243 人	66.4%	244 人	66.8%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	180 人	49.2%	195 人	53.4%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	141 人	38.5%	156 人	42.7%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	168 人	45.9%	178 人	48.8%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	54 人	14.8%	49 人	13.4%
9 知っているものは一つもない	35 人	9.6%	35 人	9.6%



**【問2の調査結果より】**

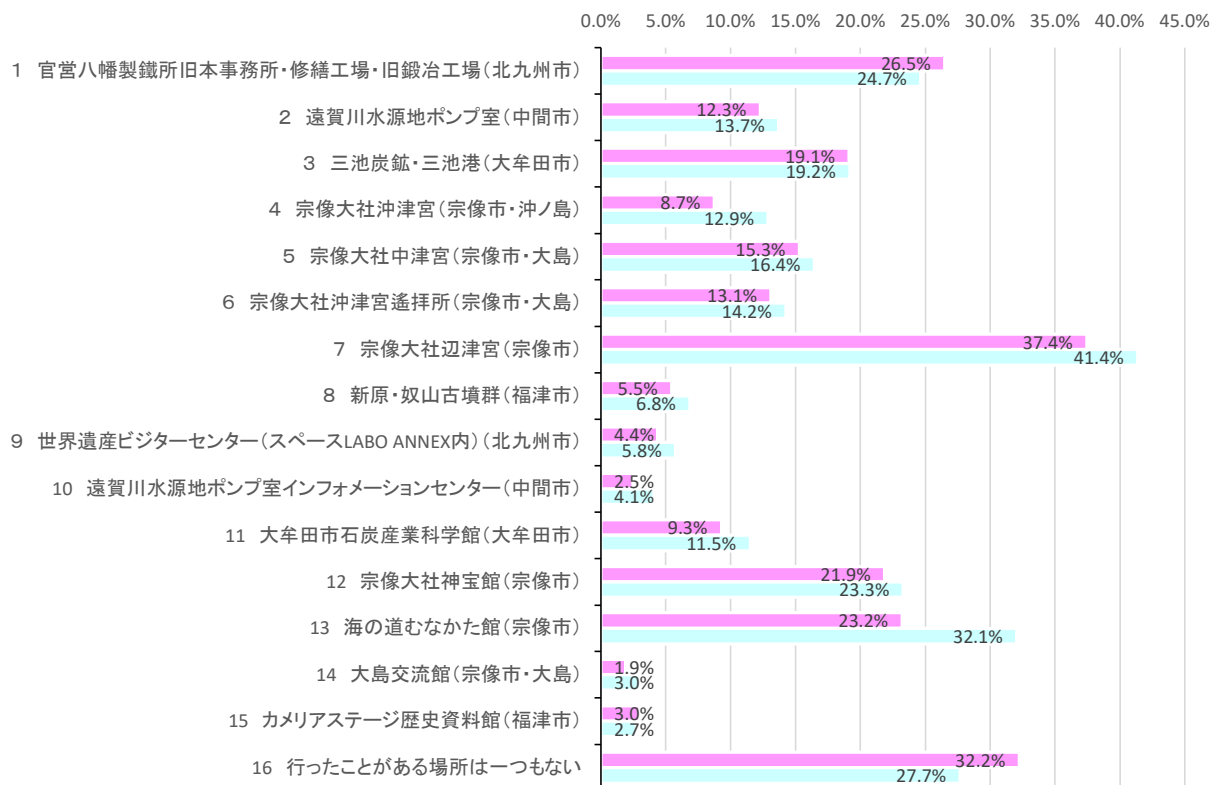
官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)、遠賀川水源地ポンプ室(中間市)及び新原・奴山古墳群(福津市)は対前年度比で認知度が増加しているが、その他の場所は微減となっている。

問3 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産や関連する展示施設のうち、行ったことがある場所はどこですか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

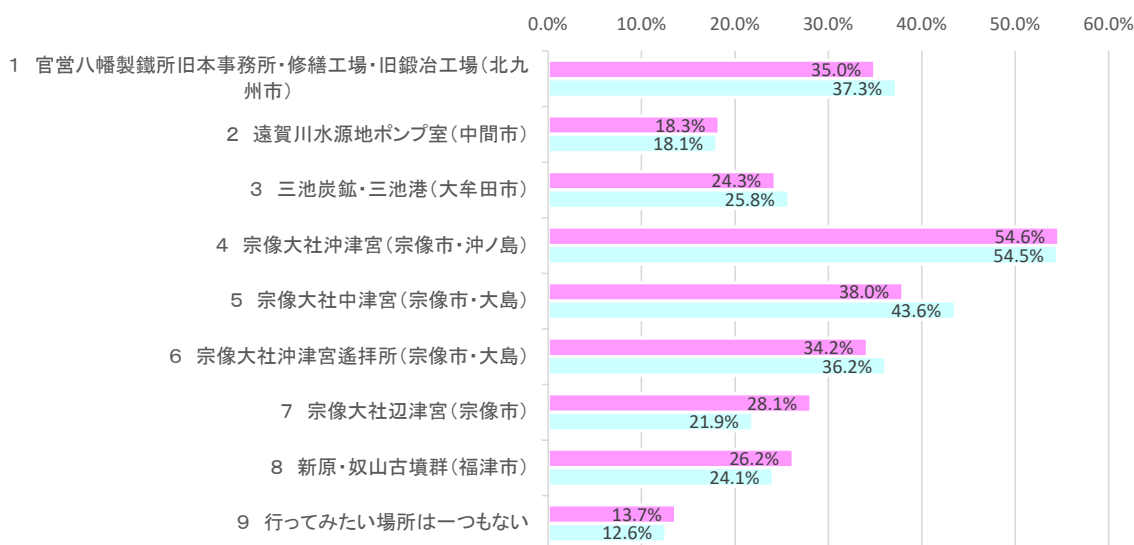
※選択肢1～8は構成資産、9～15は関連する展示施設です。

	R7年度 (回答者数366人)		R6年度 (回答者数365人)	
	人数	割合	人数	割合
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	97人	26.5%	90人	24.7%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	45人	12.3%	50人	13.7%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	70人	19.1%	70人	19.2%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	32人	8.7%	47人	12.9%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	56人	15.3%	60人	16.4%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	48人	13.1%	52人	14.2%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	137人	37.4%	151人	41.4%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	20人	5.5%	25人	6.8%
9 世界遺産ビジターセンター(スペースLABO ANNEX内)(北九州市)	16人	4.4%	21人	5.8%
10 遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター(中間市)	9人	2.5%	15人	4.1%
11 大牟田市石炭産業科学館(大牟田市)	34人	9.3%	42人	11.5%
12 宗像大社神宝館(宗像市)	80人	21.9%	85人	23.3%
13 海の道むなかた館(宗像市)	85人	23.2%	117人	32.1%
14 大島交流館(宗像市・大島)	7人	1.9%	11人	3.0%
15 カメリアステージ歴史資料館(福津市)	11人	3.0%	10人	2.7%
16 行ったことがある場所は一つもない	118人	32.2%	101人	27.7%



問4「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産のうち、今後行ってみたい場所はありますか。  
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

	R7年度 (回答者数366人)		R6年度 (回答者数365人)	
	人数	割合	人数	割合
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	128人	35.0%	136人	37.3%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	67人	18.3%	66人	18.1%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	89人	24.3%	94人	25.8%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	200人	54.6%	199人	54.5%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	139人	38.0%	159人	43.6%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	125人	34.2%	132人	36.2%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	103人	28.1%	80人	21.9%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	96人	26.2%	88人	24.1%
9 行ってみたい場所はありません	50人	13.7%	46人	12.6%

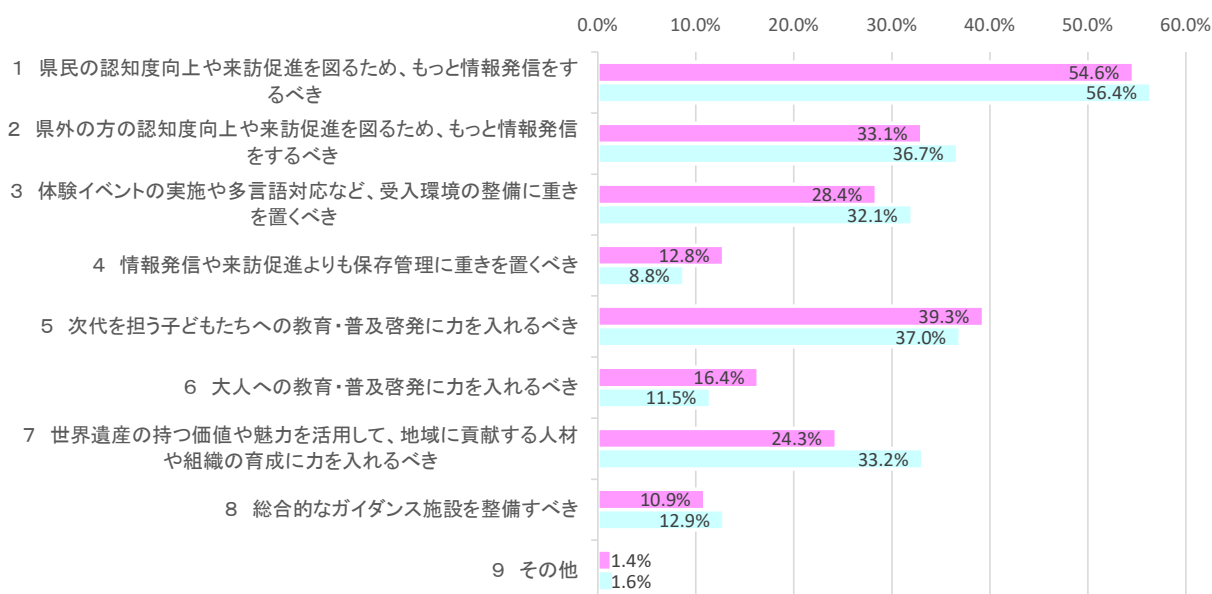


【問3、4の調査結果より】

- ・両世界遺産の構成資産や関連する展示施設に「行ったことがある場所は1つもない」という回答が前年度に引き続き約3割に上ることから、来訪促進を図る取組を継続していく必要がある。
- ・宗像市・大島の構成資産である宗像大社中津宮や沖津宮遙拝所について、「行ったことがある」方は2割に満たないのに対し、「行ってみたい」と回答した方は約4割となっており、潜在的な来訪ニーズが高いことが確認できる。また、上陸禁止である宗像大社沖津宮へ行ってみたいという回答は5割を超えており、関心の高さが明確となった。
- ・構成資産や関連する展示施設によって、来訪の有無の差が大きいことから、両世界遺産の構成資産や関連施設が連携する周遊促進イベントが有効であると考えられる。

問5 福岡県内の世界遺産について、優先的に取り組んで欲しいことは何ですか。  
次の中から最も当てはまるものを【3つまで】選んでください。

	R7年度 (回答者数366人)		R6年度 (回答者数365人)	
	人数	割合	人数	割合
1 県民の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	200人	54.6%	206人	56.4%
2 県外の方の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	121人	33.1%	134人	36.7%
3 体験イベントの実施や多言語対応など、受入環境の整備に重きを置くべき	104人	28.4%	117人	32.1%
4 情報発信や来訪促進よりも保存管理に重きを置くべき	47人	12.8%	32人	8.8%
5 次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき	144人	39.3%	135人	37.0%
6 大人への教育・普及啓発に力を入れるべき	60人	16.4%	42人	11.5%
7 世界遺産の持つ価値や魅力を活用して、地域に貢献する人材や組織の育成に力を入れるべき	89人	24.3%	121人	33.2%
8 総合的なガイダンス施設を整備すべき	40人	10.9%	47人	12.9%
9 その他	5人	1.4%	6人	1.6%



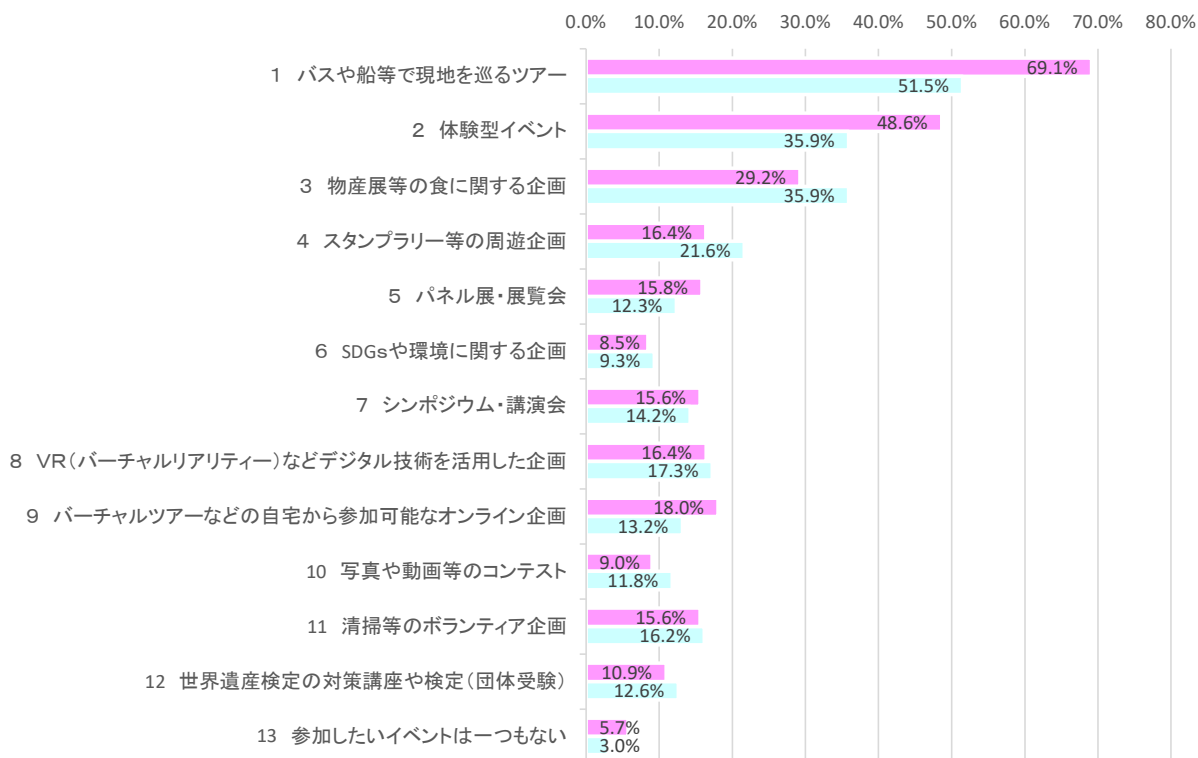
**【問5の調査結果より】**

- ・「認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき」との回答が多いことから、引き続き県内外に向けた情報発信が求められている。
- ・「次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき」との回答が昨年に引き続き割合が高く、子どもが楽しみながら世界遺産について学ぶための取組を今後も継続していく必要がある。
- ・「大人への教育・普及啓発に力を入れるべき」との回答が昨年に比べ、増加していることから、大人向けの教育・普及啓発の取組みが求められている。

問6 今後世界遺産に関するイベント等が開催されたら参加したいものはありますか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

	R7年度 (回答者数366人)		R6年度 (回答者数365人)	
1 バスや船等で現地を巡るツアー	253 人	69.1%	188 人	51.5%
2 体験型イベント	178 人	48.6%	131 人	35.9%
3 物産展等の食に関する企画	107 人	29.2%	131 人	35.9%
4 スタンプラリー等の周遊企画	60 人	16.4%	79 人	21.6%
5 パネル展・展覧会	58 人	15.8%	45 人	12.3%
6 SDGsや環境に関する企画	31 人	8.5%	34 人	9.3%
7 シンポジウム・講演会	57 人	15.6%	52 人	14.2%
8 VR(バーチャルリアリティ)などデジタル技術を活用した企画	60 人	16.4%	63 人	17.3%
9 バーチャルツアーなどの自宅から参加可能なオンライン企画	66 人	18.0%	48 人	13.2%
10 写真や動画等のコンテスト	33 人	9.0%	43 人	11.8%
11 清掃等のボランティア企画	57 人	15.6%	59 人	16.2%
12 世界遺産検定の対策講座や検定(団体受験)	40 人	10.9%	46 人	12.6%
13 参加したいイベントは一つもない	21 人	5.7%	11 人	3.0%



【問6の調査結果より】

- ・ツアーや体験型イベント、物産展等の食に関する企画など、世界遺産を身近に感じられるイベントや企画への需要が大きい。
- ・VRなどのデジタル技術を活用した企画やオンライン企画に参加したいとの回答が2割程度あった。
- ・パネル展・展覧会、シンポジウム・講演会、検定など、世界遺産について学ぶ機会を提供する取組みの継続が求められている。



問7 福岡県内の世界遺産について、これまでの設問以外に意見はありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

【一部抜粋(回答者数104人)】

<b>教育の推進</b>
学校教育や地域イベントを通じて、子どもや若い世代に「自分たちの遺産」という意識を育むことが必要です。
世界遺産になるほどの歴史、背景があるはずで、それを次代にしっかりと継承できるための教育が必要。
現地に行くのと行かないのでは、その後の興味の持ち方などが全然違ってきますので、出来れば子どもたちに、学校の社会見学や地域のイベントで足を運んで、子どもたちが興味を持つような教育をして欲しいです。
<b>広報・啓発</b>
せっかくの世界遺産なので、県の内外を問わずに多くの人に知ってもらい見てもらった方が良くと思います。人知れずひっそりとしているのは宝の持ち腐れで大変もったいないです。
世界遺産の指定の際にニュースや特集番組等をテレビで見た記憶はあるが、その後に世界遺産に関する話題を目にすることはめっきり減ったと感じている。定期的なイベントが行われる際に現場を知事が訪れる様子をぜひ目にしたいと思いました。そして、世界遺産に子供と一緒に掛ける際の推奨プランについても、調べてみたいと思いました。これまで、そのようなプラン提示は行われていると思いますが、定期的に何度かその告知を目にしたいと思います。「この世界遺産めぐりのプラン、前から気になっていたんよね、今度の休みに行ってみよう」というきっかけになるには、何らかの媒体で何度か目にしないと達成できない気がしています。
もう少し、認知度を高めるために広報の頻度や工夫をしてほしい。
世界遺産であることを もっと全国にPRして欲しい。
県民が世界遺産について知る機会が増えるようにした方がいい。例えば小学生とか中学生のときに触れる機会をつくるか。私はずっと福岡にいたけど全然知らないです、、、。
現在、世界遺産の紹介や保全を目的として、どういう事業を行い、それにどれくらいの予算を使ったかを公開(宣伝)して欲しい。そして今後については、世界遺産に関してどんなイベントや事業を計画しているかを予算付きで公開し、人気投票を行ったうえで、人気の高いものについてはクラウドファンディングなども活用して予算を集めて、実現して欲しい。
<b>イベント・ツアーの企画・開催</b>
世界遺産に関するイベントをする目的や根拠を明確にすべきと思う。
バスツアーも無料にして、昼ランチも美味しいものを提供して広めたり普及するように積極的に展開していく。すると、その方々の口コミやSNSで知らされる。
せっかくの世界遺産でも、整備の仕方などによって違いがあるのはもったいないように感じる。無理やりまとめて世界遺産にした感はないので、離れているのは仕方がないけれど、まとめて訪れることができるツアーなどがあると参加してみたいと思う。
アクセスや紹介方法についても、点在していることを逆手にとった“周遊型デジタルガイド”や“地域別の深堀型イベント”などがあれば、より親しみやすくなると思います。
日本はアニメ大国なのでアニメや漫画とコラボさせるのがいいと思います。例えば今ですと名探偵コナンや鬼滅の刃、ちいかわなど、老若男女問わず人気の作品であれば、県内だけでなく県外、海外からの訪問も見込めます。
デジタル技術を活用した情報発信VR(仮想現実)やAR(拡張現実)などのデジタル技術の活用をおこない、実際に現地に行きたくするような取り組みや行けない人への支援。
子どもにとって、難しい歴史の話や専門用語は理解が難しいので、もっと身近に感じられる工夫が必要だと思います。例えば、キャラクターを使った解説パンフレットや、親子で参加できるクイズラリー、スマホをかざすと遺産の昔の姿が見えるAR体験などがあれば、遊びながら自然と理解が深まります。また、学校と連携して授業の一環で訪問できたり、オンラインで学べる教材や動画が整備されれば、家庭や学校で世界遺産を身近に感じられると思います。
スタンプラリー形式で四季を味わう、特典のあるツアーに行きたい。
福岡県内の世界遺産も魅力的なものは複数あるがそれぞれが点として存在しているイメージがあるため福岡県下の世界遺産を線や面で結ぶような企画や取り組みをおこなうとよいのではないかと。
特別支援学校に通う生徒など、普段外出が難しい子ども達に、オンラインで世界遺産を観せてほしい。
教養としてというよりも体験型イベントを通じて、身近な存在となるような企画を期待します。
認知を広げる為に子供達に学んでもらえる場づくりをお願いしたいです(遠足などで)大人も知らないもので、バスツアー(難しいかもしれませんが、無償もしくは格安で)を行ってもらえると嬉しいです。
<b>インフラ整備</b>
車がないので公共交通機関で行くためのお得なパスや交通費の補助などあればいきやすい。また行き方のガイド、バス電車などの時刻表などあれば行きやすい。
世界遺産は素晴らしい物だと思います。しかし、とにかく交通の便が悪すぎます。PRしてもレンタカー借りないと回れない、行きにくいので何とかして欲しい。
交通事情が整い、行きたいときに行かれるようになると嬉しい。
交通の便が良くなればもっと行きやすくなる。休日に博多や天神からの直行バスなどがあればもっと行きやすくなる。
天神や博多に行くと、国際会議場や福岡タワー、PayPayドーム、太宰府直行バスは見かけますが、世界遺産までの直行バスをあまり見かけません。交通の便がよくなれば、行きたい人も増えると思います。あと、その周辺の食のスポットももっと紹介してほしいです。糸島に習うことが多いと思います。
もっと世界遺産のところは整備して名所にしたい方がいいと思う。
世界遺産として登録することにより、観光客が増える等のメリットはあると思いますが、それによるデメリット(交通渋滞、ごみ問題等)があるので、PRする際は、それらの対策とセットで行うべきと考えます。

<b>管理・保全</b>
世界遺産になると沢山の人が関心を持ち現地に来てくれると思いますが、最近の世の中のニュースを見ていると不審者やマナーの守れない人たちがいることに頭が痛くなります。知ってほしいと思う反面、セキュリティや保存についても気になるところです。 管理に莫大な年月と費用がかかりますが、荒らされるぐらいなら現地現物は守りに徹し、バーチャル機能を使うことも必要なのではと思います。 お手間はかかりますが、時期や人数を制限し見学のルールをしっかりと守れると制約できる方に案内することもやむを得ないのでは。 ただ保管保存のみでは関心が広がらないかもしれないので難しい所だと思います。
世界遺産の保全に力を入れて欲しい。また、世界遺産への迷惑行為に対する罰則を強化してほしい。
世界遺産として保存するのに地元の負担が過大にならないようにしてほしい。
歴史ある建築物や特産物は日本と福岡を象徴する物なので、しっかり保存管理をしてほしいのは当たり前として、最近は外国人(移民・旅行者)の手によって意図的に傷つけられたり壊されたりといったニュースを耳にするのでしっかりした対策と、もしそのような事件が起きてしまった場合には相応の処分を下せるような条例などの整備をお願いしたいです。
世界遺産を認知していただくのは良い事だとは思いますが、オーバーツーリズムになり、せつかくの遺産の景観などが荒らされる懸念もあります。それをどのように守っていくかが課題となると思います。
県内に世界遺産があることは県民として誇らしいと思います。ぜひその保護に力を入れていただき、いたづらに人集めをしてしまって周辺地域含めてごみ、騒音問題等が起きることが内容に取り組んでいただきたいと思います。
世界遺産は、人類が長い歴史の中で気づき守ってきた文化や自然の貴重な財産であり、未来へ受け継ぐべき大切な遺産と考えます。歴史を学ぶ場であり、重要な役割を果たしている。
世界遺産として保存するのに地元の負担が過大にならないようにしてほしい。観光だけでは保存は無理だろう。
<b>世界遺産認定に関する意見</b>
世界遺産がおおすぎて！世界遺産になることのメリットを教えてもらえたら、もっと協力を得られるのではないかな。
世界遺産に登録されることでその場所が観光地化され、最初は多くの観光客が訪れて賑わうが、その賑わいは長くは続かないことも多い。長く県民に愛され大切にされる施設とするためには派手さだけでなく地道な地域を巻き込んだ取り組みが必要だと思う。
世界遺産になったことで維持管理費がかなり膨れ上がったと思う。 正直マイナスな面がかなり大きいと思うので、これ以上世界遺産登録を増やすメリットがあまり無いのではないかな。
複数で構成しているので名称含めわかりにくい。具体的にイメージが湧きにくい。
全国でも県内でも世界遺産が多く価値が失われている気がするし、管理などの負担も増えるので、もう少し再検討して減らしたほうが良いと思います。
<b>その他</b>
門司港駅の遺跡保存のように、平地の少ない地域での公共施設の建設を妨げないこと、国連などを巻き込んでの遺跡保存は良くない。お互いの意見で調和と妥協が必要だと思います。
世界遺産に対する県の立ち位置は来訪者アップか保存かどちらでしょうか。世界遺産として保存をしていくためには資金が必要になる。そのために来訪者を増やして地域の活性化に繋げることは一つの策だが、各地で起こっているようなオーバーツーリズムの問題が生じてくるのでまずはどちらの立場であるかを県民に知らせることが大切だと思う。
主要な福岡県内観光地(太宰府天満宮や門司港レトロ口地区など)と比べると、世界遺産は認知度が低いと思う。
県内には、世界遺産以外にも魅力ある歴史的・産業的・自然的な施設や場所はたくさんあります。世界遺産を発信する機会に、それらも併せて伝えていただければ、とても参考になるのでは、と思います。
今まで行ったことのない場所が多くあり、興味を持ちました。福岡に住んでいても知らないことがたくさんあるため、普及活動にもう少し力を入れていただけたら、周知につながると感じました。
福岡の貴重な観光資源として活かしてほしい。
テレビで福岡県内の世界遺産が特集されれば見るようにしている。小中高等学校の授業の時間に学習されれば、感想を家族と共有してりで、世界遺産への関心が高まるのではないのでしょうか。
せつかく福岡検定もあるので、検定を持っている方にボランティアでガイドを依頼するなど、できることはあると思う。
世界遺産をレジャーとして観光地化するのではなく、各場所の歴史、意義、重要性などを、県民が学ぶことができる、やや堅めの施策を検討いただきたい。
そんなに貴重な場所がたくさんある事を知らなかった。気持ちが高まりました。出来る限り見てまわりたいと思います。
私個人は最近福岡に居住始めたので福岡の世界遺産については殆ど知らない事ばかりでした。「なぜ行ったことないのか？」と設問で聞いてもよいのではないのでしょうか？
私の場合は、知らなかったのが大きな理由ですが、行き方が分からないというのもあると思います。もっと広報して県内外にアピールすると、新たな観光産業につながるのではないかと思います。

## 【「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」について】

### 広報・啓発

八幡製鐵所に行ってみたが現役の工場ということもあり、あまり中を見れなかった。見学できる場所を増やしてほしい。

世界遺産の認定までは各所の努力もあって成果が出ているし、大牟田などは公共交通機関の利用が一時的であったが増加した。中間については少し寂しい。なかなか難しいと思うが、継続的な情報発信と足を向かせるきっかけづくり、認知度向上が大切ではないかと思います。

遠賀川水源地ポンプ室へ行った際に、ボランティアガイドの方がめっちゃ熱心に説明して頂きました。自分一人だったら、見て、写真撮って終わりだったと思うけど説明あるといろんなことが知れて、興味持つことにもなり本当に良かったです。

世界遺産というのは「箔がつく」というような場合の意味で「箔」に過ぎないと思っています。あくまで観光名所としてどのようにプロデュースするかが大事で「世界遺産」というのはいち説得材料にすぎません。ときおり、「世界遺産」推しばかりをアピールする名所を見かけることがありますが、大事なのは「世界遺産」というラベルではなくその中身の魅力です。「世界遺産である」という権威性をアピールすることはもちろん大事ですが、そもそもどのような魅力があるかを理解し伝えることを優先させるべきだと思います。例にあげると、中間市にある「世界遺産のある街中間市」という看板の前をよく通りますが、どんな世界遺産があるのか全然知りません。

遠賀川水源地ポンプ室については外観だけの観光となると弱いです。中を見学できるようにして頂きたいです。

### その他

中間市の遠賀川水源地ポンプ室は近くにあり、よく前を通るが観光客はいない事が多い。市役所も近いので、ガイドや説明をしてくれるスタッフががいればいいのと思う。

## 【『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』について】

### 広報・啓発

沖ノ島には関心があるので、以前から写真集を見たりしている。せっかく「海の正倉院」と呼ばれる場所が福岡にあるのだから、身近に感じられるような展示(沖ノ島展のような)があれば良いと思う。

今年宗像大社にお参りしたが、大変よい経験になった。福岡の世界遺産についてはもっともっと情報発信してほしい。

宗像大社の島については、知ってほしいですが、宮司さん以外は入れない場所があると思います。入島禁止のところは、観光化して欲しくありません。儀式を含む伝統を維持できる形での紹介であれば歓迎します。観光できる場所の境界をはっきりさせた方が、地域と観光を守ることになると思います。

宗像大社沖津宮に関しては、是非島の訪問、若しくは周辺の海遊などを企画してほしい。

清掃ボランティアは、いいと思います。

以前から宗像大社に行ってみたいと思っていますが、遠いのでなかなか行くことができません。紹介動画を作って魅力をアピールしてはどうでしょうか。

### インフラ整備

宗像大社は行きましたが、閑散としていたように感じます。福岡空港からのアクセスや広報が弱いのでは。

### 【問7の調査結果より】

- ・世界遺産に関する取り組みについて様々な意見が得られた。
- ・特に、世界遺産としての広報・啓発やイベント・ツアーの企画・開催に関する意見が多く、より広く世界遺産についての情報発信を行っていくことや、魅力的なイベントやツアーの開催を求める要望が多く寄せられた。
- ・そのほか、子どもたちへの教育の推進、インフラ整備や管理・保全を求める意見もあった。
- ・これらの意見を踏まえ、世界遺産の保存・活用の取り組みを今後も継続・発信していく必要がある。